■---------------------------------------------------------------------

日本学術会議主催学術フォーラム

「安全保障と学術の関係：日本学術会議の立場」について（ご案内）

---------------------------------------------------------------------■

【日時】平成29年2月4日（土）13：00～17：00（開場：12：30～）

【主催】日本学術会議

【会場】日本学術会議講堂

（定員250名・入場無料・事前登録制・定員に達し次第、受付終了）

【開催趣旨】

日本学術会議は1950年、1967年に「戦争を目的とする科学研究」を行わない

との声明を発した。近年、軍事と学術が各方面で接近を見せる中、民生的な研

究と軍事的な研究との関係をどうとらえるかや、軍事研究が学術の公開性・透

明性に及ぼす影響などをめぐって審議すべく、「安全保障と学術に関する検討

委員会」が設置された。同委員会の中間報告を受けて審議の状況等を紹介する

とともに、内外から意見を聴取するため、学術フォーラムを開催いたします。

【プログラム】

総合司会 大政 謙次（日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授、愛媛大

学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授）

13：00-13：05 開会挨拶

挨拶 大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長、

東京大学名誉教授）

＜第１パート：委員会中間とりまとめの状況報告＞

13：05-13：35 委員会中間とりまとめの状況報告

杉田 敦（日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授）

＜第２パート：日本学術会議の内外の意見＞

進行 小松 利光（日本学術会議第三部会員、九州大学名誉教授）

13：35-13：50 （演題調整中）

兵藤 友博（日本学術会議第一部会員、立命館大学経営学部教授）

13：50-14：05 「学術研究のために」という視点

須藤 靖（日本学術会議第三部会員、東京大学大学院理学系研究科

教授）

14：05-14：20 （演題調整中）

佐野 正博（日本学術会議連携会員、明治大学経営学部教授）

14：20-14：35 軍民両用（デュアルユース）研究とは何か－

科学者の使命と責任について

福島 雅典（日本学術会議連携会員、財団法人先端医療振興財団臨床

研究情報センター長（兼）研究事業統括）

14：35-14：50 防衛技術とデュアルユース（予定）

西山 淳一（公益財団法人未来工学研究所 政策調査分析センター

研究参与）

14：50-15：05 安全保障と学術について（予定）

根本 清樹（朝日新聞社論説主幹）

15：05－15：20 （ 休憩 ）

＜第３パート：総合討論＞

進行 杉田 敦（日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授）

15：20-16：55 総合討論

（学術フォーラム参加者と安全保障と学術に関する検討委員会委員による

質疑応答）

16：55-17:00 閉会挨拶

挨拶 花木 啓祐（日本学術会議副会長第三部会員、東京大学大学院工学系

研究科教授）

17:00 閉会

【参加申込】

日本学術会議ウェブサイト(<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0069.html>)

より2月3日（金）17時までに氏名・連絡先(メールアドレス等)をご連絡下

さい。ただし、申込数が定員に達し次第、申込を締め切ります。申込を受け

付け後、受付番号を事務局から申込者に連絡します。受付番号がない方の当

日入場はできません。何卒ご了承ください。

※１参加申込につき１席のみの申込でお願いします（複数人分の申込は不可）。

【本件問い合わせ先】

日本学術会議事務局 審議第二担当

TEL：03-3403-1082 FAX：03-3403-1640